

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

<b>1-1 建物概要</b>		<b>1-2 外観</b>	
建物名称	(仮称)スペースプランニング事務所	階数	地上2F
建設地	静岡県浜松市東区上石田999他21筆	構造	S造
用途地域	地域指定なし	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年10月 予定	評価の実施日	2019年11月27日
敷地面積	11,050 m <sup>2</sup>	作成者	松本拓也
建築面積	5,409 m <sup>2</sup>	確認日	2019年11月28日
延床面積	6,280 m <sup>2</sup>	確認者	定森淳一



**2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)**

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

**2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)**

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 81%  
③上記+②以外の 81%  
④上記+ 81%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

**2-3 大項目の評価(レーダーチャート)**

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 2  
LR1 エネルギー: 1  
LR2 資源・材料: 1  
LR3 敷地外環境: 1

**2-4 中項目の評価(バーチャート)**

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.7**

**Q1 室内環境** (Q1のスコア = 2.8)

**Q2 サービス性能** (Q2のスコア = 3.2)

**Q3 室外環境(敷地内)** (Q3のスコア = 2.4)

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.5**

**LR1 エネルギー** (LR1のスコア = 4.0)

**LR2 資源・材料** (LR2のスコア = 3.1)

**LR3 敷地外環境** (LR3のスコア = 3.3)

<b>3 設計上の配慮事項</b>		
<p><b>総合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室内環境、サービス性能に配慮している。</li> <li>・敷地内外環境に配慮している。</li> <li>・エネルギー、資源・材料の確保に努めている。</li> </ul>		<p><b>その他</b></p> <p>0</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・換気量、自然換気性能に配慮している。</li> <li>・喫煙室を負圧とする等、喫煙の制御に配慮している。</li> </ul>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な天井高を確保している。</li> <li>・耐用年数の長い給排水管を採用している。</li> <li>・階高、壁長さ比率を確保し、空間のゆとりに配慮している。</li> </ul>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑地を設けている。</li> <li>・景観条例に配慮している。</li> </ul>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高性能断熱材の採用、LED照明の採用等、省エネルギー性能に配慮している。</li> </ul>	<p><b>LR2 資源・材料</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節水型水栓、節水型便器を採用し、節水性能に配慮している。</li> <li>・リサイクル材の活用を努めている。</li> <li>・防水工事のプライマー採用等、化学物質の使用削減に努めている。</li> </ul>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギー性能を高め、LCCO<sub>2</sub>排出率を削減する事で、地球温暖化防止に努めている。</li> <li>・ガス設備設置無し等、大気汚染防止に努めている。</li> </ul>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	(仮称)スペースプランニング事務所兼倉庫新築工事	BEE	1.2	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度				
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.8 / 5		ふつつ	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9 / 5		がんばろう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.5 / 5		ふつつ	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.7 / 5		がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例 よい 4点以上	ふつつ 3点以上	がんばろう 3点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		得点	3.8	
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④給排水管は上位3種がB以上、Eは不使用</li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外構緑化指数26.7%以上</li> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑦BPI<sub>m</sub>=0.59 ⑧BE<sub>m</sub>=0.68</li> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪自動水栓に加え、節水型便器の採用 ⑫フリーアクセスフロアの採用 ⑬防水工事のプライマー採用</li> <li>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭LCCO<sub>2</sub>排出率=81%</li> </ul>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥ LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩ LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 ⑫ 2.1.2 ⑫ 2.1.3 ⑫ 2.1.4 ⑫ 2.1.5 ⑫ 2.1.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬ LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒 ⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善		
	<b>"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</li> </ul>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備	
	<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑱1階階高4.0m以上 ⑲1階壁長さ比率0.07</li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)</li> </ul>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ㉑	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ㉑ 地域性への配慮・快適性の向上		
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑥生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥外構緑化指数20%以上 ⑥景観条例を満たす</li> <li>■敷地外環境対策 (⑮温熱環境悪化の改善)</li> </ul>	Q-3 1 ⑥ 2 ⑥ 3 3.2 ⑥ LR-3 2 2.2 ⑮	⑥ 生物環境の保全と創出 ⑥ まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑮ 温熱環境悪化の改善		